

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 2002-211170

(43)Date of publication of application : 31.07.2002

(51)Int.Cl.

B42D 11/00
B42D 15/10
B65G 61/00
G06K 1/12
G06K 1/20
G06K 19/07
G06K 19/00
G09F 3/00
G09F 3/02
G09F 3/10

(21)Application number : 2001-008344

(71)Applicant : TOPPAN FORMS CO LTD

(22)Date of filing : 16.01.2001

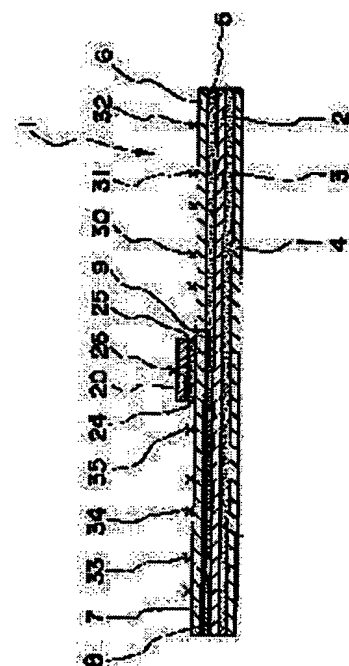
(72)Inventor : HIRABAYASHI ISATO

(54) DELIVERY SLIP

(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide a delivery slip which can contribute to make a delivering operation efficient by using an IC tag and also can be printed with the IC tag left provided and which enables also reuse of the IC tag.

SOLUTION: The delivery slip 1 has a constitution wherein a sticking slip 6 and a delivery slip and receipt slip 7 are provided in parallel on the surface side of a sticking base 2 having an adhesive 3 provided on the rear side and covered with release paper 4, so that the respective delivery information entry surfaces thereof are shown. The delivery slip-cum-receipt slip 7 is provided detachably on the sticking base 2, while the IC tag 20 having a noncontact type IC chip and having a rewrite layer formed on the surface is provided detachably at a position not impeding entry of delivery information 30-35. Printing by a printer can be executed in a state of the IC tag 20 being provided.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

15.01.2004

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

Copyright (C); 1998,2003 Japan Patent Office

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号
特開2002-211170
(P2002-211170A)

(43) 公開日 平成14年7月31日 (2002.7.31)

(51) Int.Cl. ⁷	識別記号	F I	データベース* (参考)
B 4 2 D 11/00		B 4 2 D 11/00	E 2 C 0 0 0
15/10	5 2 1	15/10	5 2 1 5 B 0 3 0
B 6 5 G 61/00	5 2 6	B 6 5 G 61/00	5 2 6
G 0 6 K 1/12		G 0 6 K 1/12	G
1/20		1/20	

審査請求 未請求^{*} 請求項の数 1 O L (全 5 頁) 最終頁に続く

(21) 出願番号 特願2001-8344 (P2001-8344)

(22) 出願日 平成13年1月16日 (2001.1.16)

(71) 出願人 000110217

トッパン・フォームズ株式会社

東京都千代田区神田駿河台1丁目6番地

(72) 発明者 平林 勇人

東京都千代田区神田駿河台1丁目6番地

トッパン・フォームズ株式会社内

(74) 代理人 10007/986

弁理士 千葉 太一

Fターム(参考) 2C005 MA40 NA08 PA02 PA14 PA18

PA21 QB03 TB01

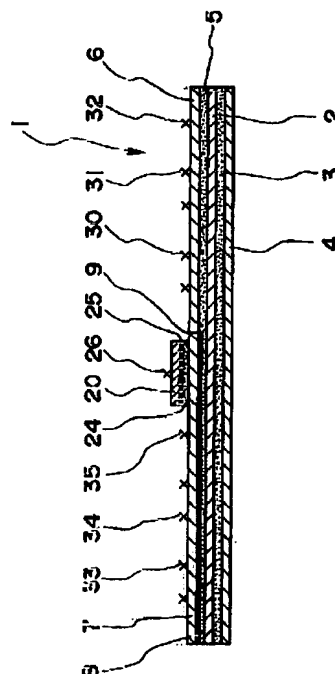
5B035 BB09 BC00 CA23

(54) 【発明の名称】 配送票

(57) 【要約】

【課題】 ICタグを利用して、配送作業の効率化に貢献できるとともに、ICタグを設けたままでプリンタによる印字が可能で、またICタグの再利用も可能な配送票を提供する。

【解決手段】 配送票1は、裏面側に粘着剤3を設けるとともにこれを剥離紙4で被覆した貼着基材2の表面側に、貼付票6と配達票兼受領票7とをそれぞれの配送情報記入面が表出するように並列的に設け、配達票兼受領票7は、貼着基材2に対して分離可能に設ける一方、配送情報30～35の記入を阻害しない位置に、非接触型ICチップを備え、表面にリライト層を形成したICタグ20を、分離可能に設け、このICタグ20を設けた状態でプリンタでの印字が可能である。



(2) 002-211170 (P2002-211170A)

【特許請求の範囲】

【請求項1】裏面側に粘着剤を設けるとともにこれを剥離紙で被覆した貼着基材の表面側に、貼付票と配達票兼受領票とをそれぞれの配送情報記入面が表出するように並列的に設け、前記配達票兼受領票は、前記貼着基材に対して分離可能に設ける一方、前記配達票兼受領票の配送情報の記入を阻害しない位置に、非接触型ICチップを備え、表面にリライト層を形成したICタグを、分離可能に設け、このICタグを設けた状態でプリンタでの印字が可能なことを特徴とする配達票。

【発明の詳細な説明】**【0001】**

【発明の属する技術分野】本発明は、配送作業で使用する複数の伝票を備えた配達票に関し、特に、非接触型ICチップを備えたICタグを設けた配達票に関する。

【0002】

【従来の技術】従来の配達票は、表面に配送情報を記入し、この配送情報を目視により確認して配送作業を行う一方、着店コードと称される配送地域を特定する番号や、配達票に固有の伝票番号を示すバーコードをバーコードリーダで読み取って配送作業の管理を行っているのが一般的である。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】配送作業を効率的に行うには、機械読み取りしたデータの活用が不可欠であるが、従来のバーコード情報は、情報量が少なく、着店コードまたは伝票番号程度しか情報化できないために、配送作業の十分な効率化はできなかった。また、バーコードリーダで読み取るためには、バーコード自体を表面に表示する必要があり、汚れなどによって読み取りエラーを生じることもあるという問題もあった。一方、ICチップのメモリには多くの情報を書き込むことができるが、このICチップを備えたICタグは高価なので、使い捨てにする安価な配達票には使用できないという問題があった。本発明は、このような事情に鑑みてなされたもので、ICタグを利用して、配送作業の効率化に貢献できるとともに、ICタグの再利用も可能な配達票を提供することを目的とする。

【0004】

【課題を解決するための手段】この目的を達成するために、本発明の請求項1に記載した配達票は、裏面側に粘着剤を設けるとともにこれを剥離紙で被覆した貼着基材の表面側に、貼付票と配達票兼受領票とをそれぞれの配送情報記入面が表出するように並列的に設け、前記配達票兼受領票は、前記貼着基材に対して分離可能に設ける一方、配送情報の記入を阻害しない位置に、非接触型ICチップを備え、表面にリライト層を形成したICタグを、分離可能に設け、このICタグを設けた状態でプリンタでの印字が可能なことを特徴とするものである。

【0005】

【発明の実施の形態】以下、添付図面に基づいて本発明をデパートや、通信販売会社における商品の大量配送に適用した場合の好適な実施形態を説明する。ここにおいて、図1は必要な情報を印字した配達票の表面側を示す概略的な平面図、図2は同じくそのA-A線断面図、図3はICタグの概略的な断面図である。

【0006】図1及び図2に示すように、配達票1は各種物品を配送する宅配便で使用するもので、貼着基材2の裏面側に粘着剤3を設けるとともにこれを剥離紙4で被覆する一方、この貼着基材2の表面側に粘着剤5を設け、貼付票6と配達票兼受領票7とを上下方向に並列的に接着して設けてなり、前記配達票兼受領票7は、その裏面に剥離剤8を塗布して、前記貼着基材2に対して分離可能に構成している。前記貼付票6と前記配達票兼受領票7は、1枚の感熱紙にスリット9を入れて区画形成したものである。

【0007】図1に示すように、貼付票6の表面には、「貼付票」なる標題10と、届け先記入欄12と、依頼主記入欄13と、品名記入欄14とを設けている。これら各記入欄12、13、14には、追って、感熱プリンタにより届け先情報30、依頼主情報31、品名情報32を印字し、同時に、届け先記入欄12の上には、伝票番号11を印字する。また、配達票兼受領票7の表面には、「配達票兼受領票」なる標題15と、届け先記入欄16と、依頼主記入欄17と、品名記入欄18と、受領印捺印欄19とを設けている。前記各記入欄16、17、18には、追って、感熱プリンタにより届け先情報33、依頼主情報34、品名情報35を印字する。このように、前記貼付票6と前記配達票兼受領票7の各表面が配送情報記入面となっている。

【0008】図1～図3に示すように、配達票兼受領票7の配送情報の記入を阻害しない位置である、受領印捺印欄19の左側には、非接触型のICチップ22とこれに接続したアンテナ23を備え、表面に感熱タイプのリライト層21を形成したICタグ20を、粘着剤24で接着している。このICタグ20は、裏面に剥離剤25を塗布することで、前記粘着剤24に対して剥離可能である。

【0009】ICタグ20は、これを接着した状態で配達票1をプリンタにかけて、印字が可能な薄さに構成されている。そして、表面に設けたリライト層21に、伝票番号11と同一内容を示すバーコード26を、追って印字する。ICタグ20は、図3に示すように、ICチップ22の接点をアンテナ23と接続し、これを2枚の樹脂製シート27、28の間に挟むとともに、両シート27、28を接着剤29で接着して形成したものである。

【0010】続いて、以上のように構成した本実施形態の配達票1の使用方法について説明する。まず、百貨店や通信販売会社では、商品配送管理データをあらかじめ

(3) 002-211170 (P2002-211170A)

入力してあるメインコンピュータの出力装置である感熱プリンタに大量の配送票1を順次かけて、図1に示すように、貼付票6、配達票兼受領票7の各届け先記入欄12、16、各依頼主記入欄13、17、各品名記入欄14、18にそれぞれ、届け先情報30、33、依頼主情報31、34、品名情報32、35を印字するとともに、伝票番号11とこれに対応するバーコード26をそれぞれ所定位置に印字する。この印字動作に際しては、ICタグ20が粘着剤24で全面的に配達票兼受領票7に接着されているので、感熱プリンタの移送時に引っ掛かることなく、そのリライト層21に円滑に前記バーコード26が印字される。

【0011】次いで、ICタグ20のICチップ22のメモリに、印字した伝票番号をはじめとする配送情報と同一内容の情報及び配送地域を特定するコードをリーダーライタからの無線通信信号により書き込む。なお、この情報の書き込みを印字前に行い、その後、同一内容を感熱プリンタで印字するようにしてもよいほか、印字と同時に、書き込み動作を行ってもよいものである。

【0012】そして、各記入欄12、13、14、16、17、18にそれぞれ配送情報を記入し、ICチップ22のメモリにデータ入力した、図1図示状態の配送票1を、その剥離紙4を剥離し、露出した粘着剤3で貼着基材2の裏面側を所定の配送品の適所に貼付する。配送票1を貼付した配送品は、配送センターに送られ、配送センターでは、到達時に各配送品毎にICチップ22のメモリのデータとバーコード26を読み取って、配送品の到着を確認するとともに、この読み取ったデータに基づいて配送先の属する地域センター毎に仕分けし、当該地域センターへの出荷をメインコンピュータに記録して、配送する。

【0013】各地域センターでは、同様に、到着した配送品毎にICチップ22のメモリのデータとバーコード26を読み取って確認するとともに、この読み取ったデータに基づいて配送先毎にさらに仕分けしたうえ、メインコンピュータに出荷を記録して、届け先情報31、34として記載された届け先に配送する。

【0014】この際、配達票兼受領票7は地域センターの配送担当者によって適宜剥離され、配送担当者の手元に置いて配送作業に供される。配送担当者は、届け先ではこの配達票兼受領票7の受領印捺印欄19に受領印を捺印してもらい、この配達票兼受領票7を地域センターに持ち帰る。地域センターでは、ICチップ22のメモリのデータ、バーコード26を読み取って、配送済みメインコンピュータに記録し、配送作業を終了する。一方、この持ち帰った配達票兼受領票7からICタグ20を剥離し、ICチップ22のメモリに入力してあるデータとリライト層21に表示したバーコード26を消去したうえ、新たな配送票1に剥離可能に接着し、再度使用可能である。

【0015】このように、配送票1には伝票番号を示すバーコード26も設けてあるから、上述のICチップ22のデータとバーコード26のデータとを併用することにより、配送作業の管理をより確実に行うことができる。

【0016】なお、本発明は上述した実施形態に限定されるものではなく、例えば、バーコード26に換えて他の情報を、ICタグ20のリライト層21に印字してもよい。また、ICタグ20の接着位置も図示例に限定されない。さらに、伝票番号11はICチップ22のメモリにも書き込まれるので、バーコード26は設けなくてもよいものである。さらにまた、配達票兼受領票7の裏面周縁部に、剥離動作をより容易にするためにベタ印刷などによる印刷部を設けることも可能である。またさらに、配達票兼受領票7の左下コーナー部に、三角形の切り欠き部を形成し、前記配達票兼受領票7を貼着基材2から剥離する際の指掛け部としてもよい。

【0017】プリンタは、リライト層21及び配送情報記入面のタイプに応じて選択すればよく、感熱プリンタに限定されず、リライト層によっては、レーザプリンタやインキジェットプリンタも採用できる。また、配達票兼受領票7を分離可能に設ける構成も、剥離可能に疑似的に接着する構成であればいかなるものでもよく、例えば、剥離可能な接着剤を用いたり、フィルム同士を剥離可能に密着するなどの構成を採用してもよい。

【0018】

【発明の効果】以上説明したように、本願発明の請求項1に記載した配送票によれば、ICタグを接着したまま印字できるので、配送票に印字後、別途データ入力したICタグをこの配送票に接着などする際に生じるマッチングミスがないとともに、前記ICタグのデータに基づいて確実な配送管理を行うことができ、さらにはICタグのリライト層にも情報の印字及び書き換えが可能で、ICタグを再利用できるのでコスト的にも有利であるという効果を奏する。

【図面の簡単な説明】

【図1】必要な情報を記入した配送票の表面側を示す概略的な平面図。

【図2】同じく図1のA-A線断面図。

【図3】ICタグの概略的な断面図。

【符号の説明】

- | | |
|--------|----------|
| 1 | 配送票 |
| 2 | 貼着基材 |
| 3, 5 | 粘着剤 |
| 4 | 剥離紙 |
| 6 | 貼付票 |
| 7 | 配達票兼受領票 |
| 8 | 剥離剤 |
| 11 | 伝票番号 |
| 12, 16 | 届け先情報記入欄 |

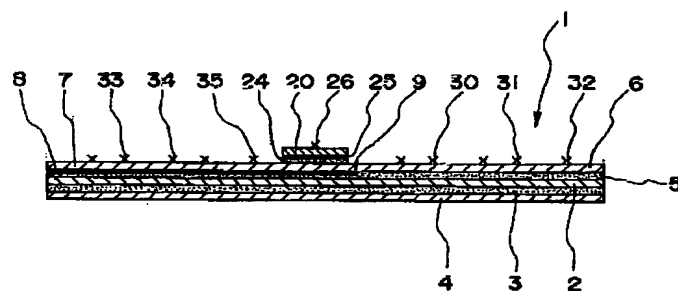
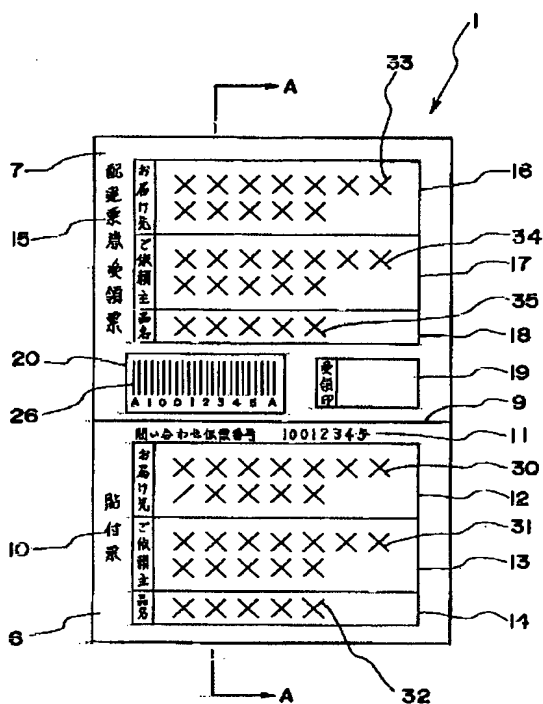
(4) 002-211170 (P2002-211170A)

13, 17 依頼主情報記入欄
 14, 18 品名情報記入欄
 19 受領印捺印欄
 20 ICタグ
 21 リライト層
 22 ICチップ
 23 アンテナ

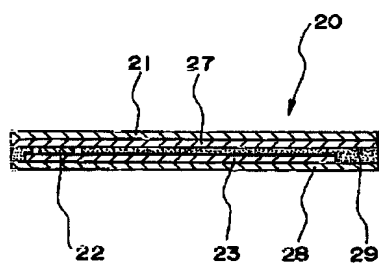
24 粘着剤
 25 剥離剤
 26 バーコード
 30, 33 届け先情報
 31, 34 依頼主情報
 32, 35 品名情報

【図1】

【図2】



【図3】



フロントページの続き

(51)Int. Cl.⁷

G06K 19/07
 19/00

識別記号

F I

G09F 3/00
 3/02

(参考)

M
 N

!(5) 002-211170 (P2002-211170A)

G09F 3/00
3/02
3/10

3/10
G06K 19/00

A
H
Q

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 2002-211170

(43)Date of publication of application : 31.07.2002

(51)Int.Cl.

B42D 11/00

B42D 15/10

B65G 61/00

G06K 1/12

G06K 1/20

G06K 19/07

G06K 19/00

G09F 3/00

G09F 3/02

G09F 3/10

(21)Application number : 2001-008344

(71)Applicant : TOPPAN FORMS CO LTD

(22)Date of filing : 16.01.2001

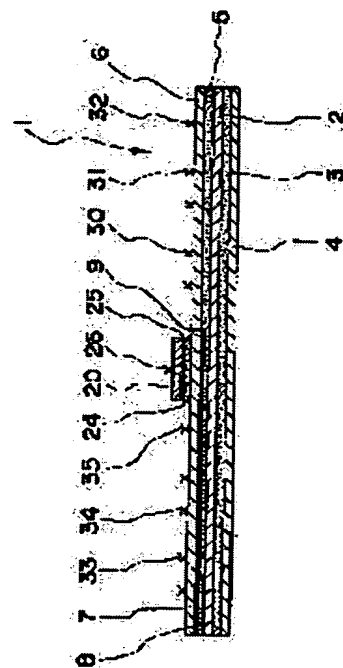
(72)Inventor : HIRABAYASHI ISATO

(54) DELIVERY SLIP

(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide a delivery slip which can contribute to make a delivering operation efficient by using an IC tag and also can be printed with the IC tag left provided and which enables also reuse of the IC tag.

SOLUTION: The delivery slip 1 has a constitution wherein a sticking slip 6 and a delivery slip and receipt slip 7 are provided in parallel on the surface side of a sticking base 2 having an adhesive 3 provided on the rear side and covered with release paper 4, so that the respective delivery information entry surfaces thereof are shown. The delivery slip-cum-receipt slip 7 is provided detachably on the sticking base 2, while the IC tag 20 having a noncontact type IC chip and having a rewrite layer formed on the surface is provided detachably at a position not impeding entry of delivery information 30-35. Printing by a printer can be executed in a state of the IC tag 20 being provided.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

15.01.2004

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

Copyright (C); 1998,2003 Japan Patent Office

(19)日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開2002-211170

(P2002-211170A)

(43)公開日 平成14年7月31日(2002.7.31)

(51)Int.Cl. ⁷	識別記号	F I	テーマコード(参考)
B 4 2 D 11/00		B 4 2 D 11/00	E 2 C 0 0 5
15/10	5 2 1	15/10	5 2 1 5 B 0 3 5
B 6 5 G 61/00	5 2 6	B 6 5 G 61/00	5 2 6
G 0 6 K 1/12		G 0 6 K 1/12	G
1/20		1/20	

審査請求 未請求 請求項の数 1 O L (全 5 頁) 最終頁に続く

(21)出願番号 特願2001-8344(P2001-8344)

(22)出願日 平成13年1月16日(2001.1.16)

(71)出願人 000110217

トッパン・フォームズ株式会社

東京都千代田区神田駿河台1丁目6番地

(72)発明者 平林 勇人

東京都千代田区神田駿河台1丁目6番地

トッパン・フォームズ株式会社内

(74)代理人 10007/986

弁理士 千葉 太一

Fターム(参考) 2C005 MA40 NA08 PA02 PA14 PA18

PA21 QB03 TB01

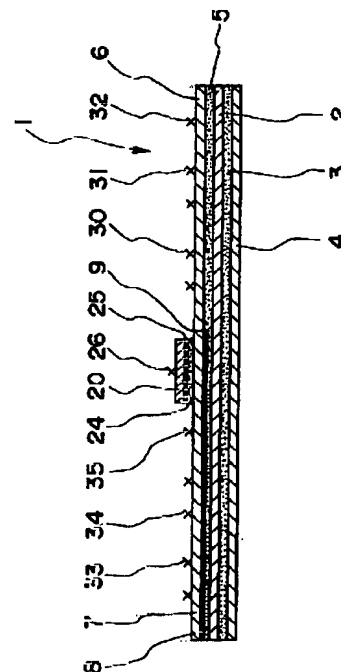
5B035 BB09 BC00 CA23

(54)【発明の名称】 配送票

(57)【要約】

【課題】 ICタグを利用して、配送作業の効率化に貢献できるとともに、ICタグを設けたままでプリンタによる印字が可能で、またICタグの再利用も可能な配送票を提供する。

【解決手段】 配送票1は、裏面側に粘着剤3を設けるとともにこれを剥離紙4で被覆した貼着基材2の表面側に、貼付票6と配達票兼受領票7とをそれぞれの配送情報記入面が表出するように並列的に設け、配達票兼受領票7は、貼着基材2に対して分離可能に設ける一方、配送情報30～35の記入を阻害しない位置に、非接触型ICチップを備え、表面にリライト層を形成したICタグ20を、分離可能に設け、このICタグ20を設けた状態でプリンタでの印字が可能である。



(2) 002-211170 (P2002-211170A)

【特許請求の範囲】

【請求項1】 裏面側に粘着剤を設けるとともにこれを剥離紙で被覆した貼着基材の表面側に、貼付票と配達票兼受領票とをそれぞれの配送情報記入面が表出するように並列的に設け、前記配達票兼受領票は、前記貼着基材に対して分離可能に設ける一方、前記配達票兼受領票の配送情報の記入を阻害しない位置に、非接触型ICチップを備え、表面にリライト層を形成したICタグを、分離可能に設け、このICタグを設けた状態でプリンタでの印字が可能なことを特徴とする配達票。

【発明の詳細な説明】**【0001】**

【発明の属する技術分野】 本発明は、配送作業で使用する複数の伝票を備えた配達票に関し、特に、非接触型ICチップを備えたICタグを設けた配達票に関する。

【0002】

【従来の技術】 従来の配達票は、表面に配送情報を記入し、この配送情報を目視により確認して配送作業を行う一方、着店コードと称される配送地域を特定する番号や、配達票に固有の伝票番号を示すバーコードをバーコードリーダで読み取って配送作業の管理を行っているのが一般的である。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】 配送作業を効率的に行うには、機械読み取りしたデータの活用が不可欠であるが、従来のバーコード情報は、情報量が少なく、着店コードまたは伝票番号程度しか情報化できないために、配送作業の十分な効率化はできなかった。また、バーコードリーダで読み取るためには、バーコード自体を表面に表示する必要があり、汚れなどによって読み取りエラーを生じることもあるという問題もあった。一方、ICチップのメモリには多くの情報を書き込むことができるが、このICチップを備えたICタグは高価なので、使い捨てにする安価な配達票には使用できないという問題があった。本発明は、このような事情に鑑みてなされたもので、ICタグを利用して、配送作業の効率化に貢献できるとともに、ICタグの再利用も可能な配達票を提供することを目的とする。

【0004】

【課題を解決するための手段】 この目的を達成するために、本発明の請求項1に記載した配達票は、裏面側に粘着剤を設けるとともにこれを剥離紙で被覆した貼着基材の表面側に、貼付票と配達票兼受領票とをそれぞれの配送情報記入面が表出するように並列的に設け、前記配達票兼受領票は、前記貼着基材に対して分離可能に設ける一方、配送情報の記入を阻害しない位置に、非接触型ICチップを備え、表面にリライト層を形成したICタグを、分離可能に設け、このICタグを設けた状態でプリンタでの印字が可能なことを特徴とするものである。

【0005】

【発明の実施の形態】 以下、添付図面に基づいて本発明をデパートや、通信販売会社における商品の大量配送に適用した場合の好適な実施形態を説明する。ここにおいて、図1は必要な情報を印字した配達票の表面側を示す概略的な平面図、図2は同じくそのA-A線断面図、図3はICタグの概略的な断面図である。

【0006】 図1及び図2に示すように、配達票1は各種物品を配送する宅配便で使用するもので、貼着基材2の裏面側に粘着剤3を設けるとともにこれを剥離紙4で被覆する一方、この貼着基材2の表面側に粘着剤5を設け、貼付票6と配達票兼受領票7とを上下方向に並列的に接着して設けてなり、前記配達票兼受領票7は、その裏面に剥離剤8を塗布して、前記貼着基材2に対して分離可能に構成している。前記貼付票6と前記配達票兼受領票7は、1枚の感熱紙にスリット9を入れて区画形成したものである。

【0007】 図1に示すように、貼付票6の表面には、「貼付票」なる標題10と、届け先記入欄12と、依頼主記入欄13と、品名記入欄14とを設けている。これら各記入欄12、13、14には、追って、感熱プリンタにより届け先情報30、依頼主情報31、品名情報32を印字し、同時に、届け先記入欄12の上には、伝票番号11を印字する。また、配達票兼受領票7の表面には、「配達票兼受領票」なる標題15と、届け先記入欄16と、依頼主記入欄17と、品名記入欄18と、受領印捺印欄19とを設けている。前記各記入欄16、17、18には、追って、感熱プリンタにより届け先情報33、依頼主情報34、品名情報35を印字する。このように、前記貼付票6と前記配達票兼受領票7の各表面が配送情報記入面となっている。

【0008】 図1～図3に示すように、配達票兼受領票7の配送情報の記入を阻害しない位置である、受領印捺印欄19の左側には、非接触型のICチップ22とこれに接続したアンテナ23を備え、表面に感熱タイプのリライト層21を形成したICタグ20を、粘着剤24で接着している。このICタグ20は、裏面に剥離剤25を塗布することで、前記粘着剤24に対して剥離可能である。

【0009】 ICタグ20は、これを接着した状態で配達票1をプリンタにかけて、印字が可能な薄さに構成されている。そして、表面に設けたリライト層21に、伝票番号11と同一内容を示すバーコード26を、追って印字する。ICタグ20は、図3に示すように、ICチップ22の接点をアンテナ23と接続し、これを2枚の樹脂製シート27、28の間に挟むとともに、両シート27、28を接着剤29で接着して形成したものである。

【0010】 続いて、以上のように構成した本実施形態の配達票1の使用方法について説明する。まず、百貨店や通信販売会社では、商品配送管理データをあらかじめ

(3) 002-211170 (P2002-211170A)

入力してあるメインコンピュータの出力装置である感熱プリンタに大量の配送票1を順次かけて、図1に示すように、貼付票6、配達票兼受領票7の各届け先記入欄12、16、各依頼主記入欄13、17、各品名記入欄14、18にそれぞれ、届け先情報30、33、依頼主情報31、34、品名情報32、35を印字するとともに、伝票番号11とこれに対応するバーコード26をそれぞれ所定位置に印字する。この印字動作に際しては、ICタグ20が粘着剤24で全面的に配達票兼受領票7に接着されているので、感熱プリンタの移送時に引っ掛かることなく、そのリライト層21に円滑に前記バーコード26が印字される。

【0011】次いで、ICタグ20のICチップ22のメモリに、印字した伝票番号をはじめとする配送情報と同一内容の情報及び配送地域を特定するコードをリーダライタからの無線通信信号により書き込む。なお、この情報の書き込みを印字前に行い、その後、同一内容を感熱プリンタで印字するようにしてもよいほか、印字と同時に、書き込み動作を行ってもよいものである。

【0012】そして、各記入欄12、13、14、16、17、18にそれぞれ配送情報を記入し、ICチップ22のメモリにデータ入力した、図1図示状態の配送票1を、その剥離紙4を剥離し、露出した粘着剤3で貼着基材2の裏面側を所定の配送品の適所に貼付する。配送票1を貼付した配送品は、配送センターに送られ、配送センターでは、到達時に各配送品毎にICチップ22のメモリのデータとバーコード26を読み取って、配送品の到着を確認するとともに、この読み取ったデータに基づいて配送先の属する地域センター毎に仕分けし、当該地域センターへの出荷をメインコンピュータに記録して、配送する。

【0013】各地域センターでは、同様に、到着した配送品毎にICチップ22のメモリのデータとバーコード26を読み取って確認するとともに、この読み取ったデータに基づいて配送先毎にさらに仕分けしたうえ、メインコンピュータに出荷を記録して、届け先情報31、34として記載された届け先に配送する。

【0014】この際、配達票兼受領票7は地域センターの配送担当者によって適宜剥離され、配送担当者の手元に置いて配送作業に供される。配送担当者は、届け先ではこの配達票兼受領票7の受領印捺印欄19に受領印を捺印してもらい、この配達票兼受領票7を地域センターに持ち帰る。地域センターでは、ICチップ22のメモリのデータ、バーコード26を読み取って、配送済みメインコンピュータに記録し、配送作業を終了する。一方、この持ち帰った配達票兼受領票7からICタグ20を剥離し、ICチップ22のメモリに入力してあるデータとリライト層21に表示したバーコード26を消去したうえ、新たな配送票1に剥離可能に接着し、再度使用可能である。

【0015】このように、配送票1には伝票番号を示すバーコード26も設けてあるから、上述のICチップ22のデータとバーコード26のデータとを併用することにより、配送作業の管理をより確実に行うことができる。

【0016】なお、本発明は上述した実施形態に限定されるものではなく、例えば、バーコード26に換えて他の情報を、ICタグ20のリライト層21に印字してもよい。また、ICタグ20の接着位置も図示例に限定されない。さらに、伝票番号11はICチップ22のメモリにも書き込まれるので、バーコード26は設けなくてもよいものである。さらにまた、配達票兼受領票7の裏面周縁部に、剥離動作をより容易にするためにベタ印刷などによる印刷部を設けることも可能である。またさらに、配達票兼受領票7の左下コーナー部に、三角形の切り欠き部を形成し、前記配達票兼受領票7を貼着基材2から剥離する際の指掛け部としてもよい。

【0017】プリンタは、リライト層21及び配送情報記入面のタイプに応じて選択すればよく、感熱プリンタに限定されず、リライト層によっては、レーザプリンタやインキジェットプリンタも採用できる。また、配達票兼受領票7を分離可能に設ける構成も、剥離可能に疑似的に接着する構成であればいかなるものでもよく、例えば、剥離可能な接着剤を用いたり、フィルム同士を剥離可能に密着するなどの構成を採用してもよい。

【0018】

【発明の効果】以上説明したように、本願発明の請求項1に記載した配送票によれば、ICタグを接着したまま印字できるので、配送票に印字後、別途データ入力したICタグをこの配送票に接着などする際に生じるマッチングミスがないとともに、前記ICタグのデータに基づいて確実な配送管理を行うことができ、さらにはICタグのリライト層にも情報の印字及び書き換えが可能で、ICタグを再利用できるのでコスト的にも有利であるという効果を奏する。

【図面の簡単な説明】

【図1】必要な情報を記入した配送票の表面側を示す概略的な平面図。

【図2】同じく図1のA-A線断面図。

【図3】ICタグの概略的な断面図。

【符号の説明】

- | | |
|--------|----------|
| 1 | 配送票 |
| 2 | 貼着基材 |
| 3, 5 | 粘着剤 |
| 4 | 剥離紙 |
| 6 | 貼付票 |
| 7 | 配達票兼受領票 |
| 8 | 剥離剤 |
| 11 | 伝票番号 |
| 12, 16 | 届け先情報記入欄 |

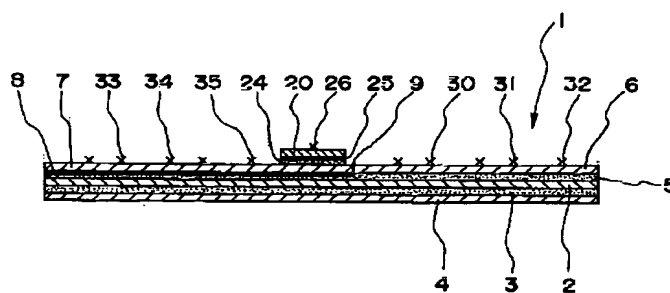
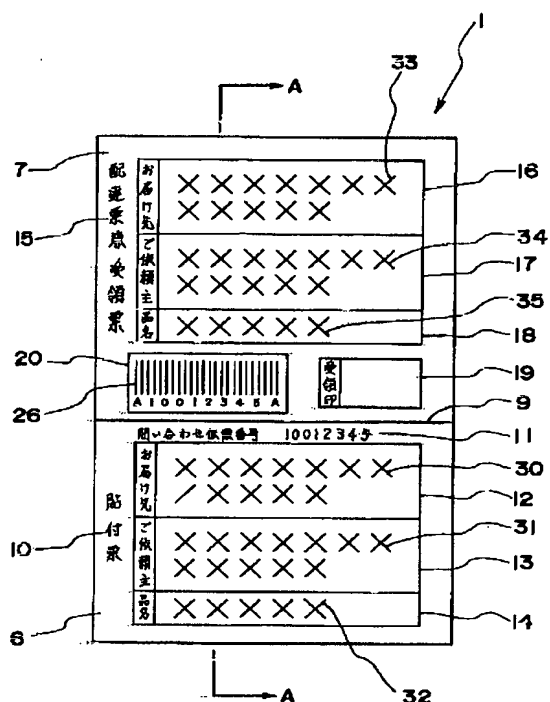
(4) 002-211170 (P2002-211170A)

13, 17 依頼主情報記入欄
 14, 18 品名情報記入欄
 19 受領印捺印欄
 20 ICタグ
 21 リライト層
 22 ICチップ
 23 アンテナ

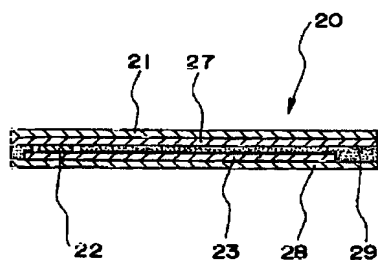
24 粘着剤
 25 剥離剤
 26 バーコード
 30, 33 届け先情報
 31, 34 依頼主情報
 32, 35 品名情報

【図1】

【図2】



【図3】



フロントページの続き

(51)Int. Cl.⁷

G 0 6 K 19/07
 19/00

識別記号

F I
 G 0 9 F 3/00
 3/02

(参考)

M
 N

!(5) 002-211170 (P2002-211170A)

G09F 3/00
3/02
3/10

3/10
G06K 19/00

A
H
Q